

「みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ 2024」の記者発表会を開催 主なプロジェクトを会見にて公開しました！

東北芸術工科大学が主催する「みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ 2024」の記者発表会を7/9(火)に開催しました。会見では、総合プロデューサーの中山ダイスケ学長、芸術監督の稲葉俊郎氏、総合キュレーターの小金沢智専任講師から、今回のテーマとプロジェクトの説明を行いました。



第6回目の開催となる今回の山形ビエンナーレは、初めて蔵王温泉と東北芸術工科大学を会場に実施します。長きにわたり人びとの心身を癒し、いのちを育む場所として歴史を刻んできた蔵王温泉で開催する今回のテーマは「いのちをうたう」。「温泉地でのアート体験により心身の健康を回復する」というコンセプトのもと、9/1(日)～16(月・祝)の会期中には、様々な展覧会やイベントを蔵王温泉街の各所で展開します。

◎「みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ 2024」概要

テーマ : いのちをうたう

会場 : 蔵王温泉、東北芸術工科大学

会期 : 2024年9月1日(日)～16日(月・祝)

参加料 : 無料／一部有料プログラムあり

主催 : 東北芸術工科大学

特別協力 : 蔵王温泉観光協会

協力 : 公益財団法人 斎藤茂吉記念館、蔵王鉱山歴史資料館、文化財保存修復研究センターほか

助成 : 公益財団法人 朝日新聞文化財団、公益財団法人 野村財団、公益財団法人 カメイ社会教育振興財団

後援 : 山形県、山形市、山形県教育委員会、山形市教育委員会

蔵王温泉が会場に！

蔵王温泉を会場に、「歌人 斎藤茂吉の歌碑」を巡る周遊型展覧会や、「鳴の谷地沼」を舞台にしたアートイベント、「蔵王体育館」や「酢川温泉神社」・「旅館や店舗」での展覧会など、多彩なプログラムが展開されます。蔵王温泉で大規模な芸術祭が開催されるのは、今回が初めてのこととなります。

主な4つのプロジェクト

1. 周遊型展覧会+パフォーマンス「ひとひのうた」@蔵王温泉、東北芸術工科大学

「ひとひのうた」は、「1日」(ひとひ)の時間の流れに注目し、蔵王温泉と東北芸術工科大学を会場に実施する、周遊型の展覧会とパフォーマンスのプロジェクトです。

周遊の要は、蔵王温泉に整備されている、医師であり歌人であった斎藤茂吉の歌碑をめぐるルート「蔵王文学のみち」。ルートに沿って、美術家、歌人、詩人、シンガーソングライター、デザイナー、ダンサーが、蔵王を歩き、思い巡らせ、見出した、さまざまな「いのち」のすがたが展示されています。まちを歩き、風土も体感しながら、じっくりとご鑑賞ください。

2. アートイベント「山と土と茶と」@蔵王温泉（鳴の谷地沼）

音楽、食、茶、農、パフォーマンス、眠りが一体となったアートイベント。

蔵王の美しい景色が一望できる「鳴の谷地沼」を会場に、音楽ライブ、野外インスタレーション、山形のオーガニック食材でつくる料理やスイーツ、山で採取した植物でお茶の可能性を探る実験的なカフェ、1day温泉リトリート、眠りのスペースなど、五感を呼び覚ます体験型アートイベントを開催します。子どもから大人まで楽しめる体験型プログラムです。

3. 展覧会 現代山形考「山はうたう」@東北芸術工科大学

民族・博物資料と現代アート作品によって、さまざまな角度から「山形らしさ」を探り、時代背景とともに多様に変遷する蔵王のすがたを辿る展覧会です。

山形ビエンナーレ 2018 以来、民俗・博物資料と現代アート作品によって、さまざまな角度から「山形らしさ」を探り続けてきたプロジェクト「現代山形考」。

上山出身の歌人・斎藤茂吉や蔵王のスキーを愛した芸術家・岡本太郎も参加アーティストに迎え、修験の地として信仰の蔵王、硫黄採掘や戦争の記憶を宿す蔵王、リゾート化により変貌を遂げる蔵王、温暖化による樹氷の危機まで、時代背景とともに多様に変遷する蔵王のすがたを辿る展覧会です。

4. 学び&ワークショップ企画「夏芸大」@東北芸術工科大学

山形ビエンナーレ 2024 の関連企画として、芸工大をフィールドに 2 週間限定（8/24～9/6）で社会人向けクリエイティブ講座を開催します。芸工大が誇る各分野のプロクリエイターと教授陣が、およそ、40 種類のさまざまなアート&デザインの講座を用意します。お仕事のスキルアップや社員教育、趣味のキッカケづくり、新たな挑戦など、どんな動機の方も大歓迎の企画です。お好きな講座をお楽しみください。（申込期間：7/10～8/7）

◎参加アーティストページを公開！

山形ビエンナーレのアートディレクションを担当している「杉の下意匠室」制作の似顔絵とともに、山形ビエンナーレのサイトで参加アーティストを紹介しています。こちらもぜひご覧ください。

【アーティストページ】 <https://biennale.tuad.ac.jp/artist/>

◎「大学における文化芸術推進事業」の成果発表について

文化庁補助事業「大学における文化芸術推進事業」の採択を受け、本学では【温泉地を舞台にした持続可能な「アート&ウェルビーイング」人材育成プログラム】を開講しています。

文化芸術の視点で、温泉地が独自に有する地域資源を活用し、訪れる人々の心身の健康回復プログラムを企画・実践できる人材、さらには、地域資源を活用しながら新たな文化・芸術の作り手となる新進芸術家の育成を目指したプログラムの受講成果は、山形ビエンナーレ 2024 の中で発表されます。

【人材育成プログラムについて】 <https://www.tuad.ac.jp/news/information/21396/>

◎山形ビエンナーレ 2024 協賛について

山形ビエンナーレでは、蔵王温泉の風土を活かし、心身の回復と地域活性化につながる芸術祭を、皆様のお力でご支援いただきたく、協賛を募集しています。資金のご協力のみならず、資材やサービスなど、企業・個人の皆様からのご支援、ご協力のほど、何卒よろしく願いいたします。

【協賛メニュー】 <https://biennale.tuad.ac.jp/2024/application/>

◎今後の情報更新について

情報は随時、山形ビエンナーレ WEB サイトで更新予定です。

【WEB サイト】 <https://biennale.tuad.ac.jp>

【記者発表資料（抜粋）】

https://www.tuad.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2021/04/240709_biennale.pdf

【お問い合わせ】 東北芸術工科大学 山形ビエンナーレ事務局 TEL : 023-627-2218